

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、同志社大学新町キャンパスに会場をお借りして開催します。24 名の方が個人研究発表を行います。シンポジウムでは、現象学とエナクティブ・アプローチとの関係をめぐって、三人の方々にご提題頂きます。『「態勢」の哲学: 知覚における身体と生』というご著書を上梓された佐藤義之氏、エナクティブイズムと積極的・批判的に対決して来られた宮原克典氏、呉羽真氏という二人の若手研究者に論じていただきます。北欧現象学会からはヨーナ・タイパレ氏が参加し、特別講演を行います。二日目の午後には、ラスロ・テンゲイ氏の遺作をめぐるワークショップと、男女共同・若手研究者支援ワークショップが開催されます。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。ご関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

プログラム

11 月 7 日 (土)

09:15-12:30 個人研究発表 (発表 30 分・質疑応答 15 分)

第 1 会場 (臨光館 208)

09:15 田中俊 (京都大学)

『イデー』における中立性変様の解明

10:05 伊集院令子 (浜松学院大学短期大学部)
像と虚構

10:55 増田隼人 (東洋大学)

フッサール現象学における時間意識と習慣性の形成

11:45 大野武士 (中央大学)

フッサールにおける「上からの理論」の問題

第 2 会場 (臨光館 209)

09:15 小田切建太郎 (立命館大学)

初期ハイデガーにおける本来的現象概念を再考する
——その背景・意味・射程について

10:05 酒詰悠太 (京都大学)

ハイデガー『形而上学の根本諸概念』における
形式的告示について

10:55 串田純一 (早稲田大学)

道具・器官・言明

——ハイデガーにおける能力の諸相

11:45 李舜志 (東京大学)

ハイデガーの手

——行為と言葉について

第 3 会場 (臨光館 210)

09:15 服部徹弘 (日本学術振興会・京都大学)

アンリの自己触発概念の再検討

10:05 山倉裕介 (京都市立芸術大学)

メルロ-ポンティの言語論は目的論的か

10:55 中山純一 (東洋大学)

白昼夢と夢想

——バシュラールの夢想の現象学における想像力の問題

11:45 谷内洋介 (東京大学・日本学術振興会)

双極性障害の躁状態における不合理な物語的自己と幸福

12:30-13:50 昼休み・第 1 回委員会

(臨光館 203)

13:50-14:50 【特別講演】(臨光館 201)

"Empathy and Recognition"

ヨーナ・タイパレ (Joonas Taipale) 氏

(ユヴァスキュラ大学 University of Jyväskylä)

15:00-18:00 【シンポジウム】(臨光館 201)

現象学とエナクティブ・アプローチ

提題者： 佐藤義之氏 (京都大学)

宮原克典氏 (立教大学・日本学術振興会)

呉羽 真氏 (京都大学)

司会：村田純一氏 (立正大学)

18:30-20:30 懇親会

会場：御所西 京都平安ホテル

(会費 5,000 円)

11 月 8 日 (日)

10:00-12:25 個人研究発表 (発表 30 分・質疑応答 15 分)

第 1 会場 (臨光館 208)

10:00 越後正俊 (東北大学)

カテゴリー的代表象の何が問題なのか

10:50 鈴木崇志 (京都大学・日本学術振興会)

『論理学研究』第四研究における鏡映の比喩について

11:40 山口弘多郎 (大阪大学)

誰が現象学をするのか

——『危機』の再考

第 2 会場 (臨光館 209)

10:00 若見理江 (京都造形芸術大学)

志向性と気遣い

10:50 高井寛 (東京大学)

行為の合理性について——『存在と時間』から

11:40 上田圭委子 (首都大学東京)

ハイデガーがブレンターノ「アリストテレスによる存在者
の多様な意義について」(1862)から受け取ったもの

第 3 会場 (臨光館 210)

10:00 Felipe Ferrari Gonçalves (名古屋大学)

Hiersein としての「自己」

——西田幾多郎における場所論の現象学

10:50 押山詩緒里 (法政大学)

アーレントにおける「赦し」と「裁き」

——クリステヴァによる解釈を超えて

11:40 池田裕輔 (立命館大学)

フランクの世界根源の現象学

12:25-13:45 昼休み・第 2 回委員会

(臨光館 203)

13:45-14:15 総会 (臨光館 201)

【会員休憩室】臨光館 207

14:25-15:10 個人研究発表 (発表 30 分・質疑応答 15 分)

第 1 会場 (臨光館 208)

14:25 佐藤紀子 (聖心女子大学)

フッサールのパリ招聘に託された意義とはなにか

第 2 会場 (臨光館 209)

14:25 神谷健 (早稲田大学・日本学術振興会)

意味の理念性について

第 3 会場 (臨光館 210)

14:25 音喜多信博 (岩手大学)

カッシーラーの「シンボル」概念とマクダウェル

15:20-17:50 【公募ワークショップ】(臨光館 204)

現象学の新たな展開

——現象学的形而上学 ラスロ・テンゲイの遺作『世界と無限』をめぐって

オーガナイザ・提題者：長坂真澄

(日本学術振興会・大阪大学)

提題者：景山洋平 (東京大学)

池田裕輔 (立命館大学)

司会：田口茂 (北海道大学)

15:20-17:50 【男女共同・若手研究者支援ワークショップ】(臨光館 205)

現象学の可能性を再考する

——実践的学科との結びつきを中心に

オーガナイザ・特定質問者：秋葉剛史 (千葉大学)

提題者：直江清隆 (東北大学)

稲垣諭 (自治医科大学)

紀平知樹 (兵庫医療大学)

特定質問者：若見理江 (京都造形芸術大学)

司会：河野哲也 (立教大学)

お知らせとお願い

1 会費納入 学会費 (年間 3,000 円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。大会会場でも受け付けます。

2 出欠の連絡 研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、10 月 24 日 (土) までに必ずお知らせください。

3 2014 年度決算報告 (2014.4.1~2015.3.31)

【歳入】

【歳出】

歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥2,824,662	『年報』出版費	¥537,624
納入学会費	¥1,349,000	『年報』編集費	¥2,110
『年報』売上	¥55,364	『年報』送料	¥34,180
普通預金利子	¥102	通信費	¥83,686
計①	¥4,229,128	企画・実行費	¥0
【次年度繰越金】	¥3,119,919	事務局経費	¥121,542
		研究大会開催費	¥165,341
		研究大会講師謝礼	¥40,000
		国際学会年会費	¥19,854
		事務謝礼	¥85,000
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥19,872
計②	¥1,109,209		

場所につきましては、別紙をご覧ください。

第 37 回

研究大会

日時：2015 年 11 月 7 日 (土)・8 日 (日)

会場：同志社大学 (新町キャンパス)

日本現象学会

事務局 〒171-8501
東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学文学部教育学科
河野哲也研究室
TEL: 03-3985-3569
FAX: 03-3985-3569
E-mail : paj-office@pa-j.jp
郵便振替 00980-9-109153
HP: http://pa-j.jp/